



第2次情報セキュリティ基本計画
～「検討の範囲」についての考え方(案)～

2008年3月19日

内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)

<http://www.nisc.go.jp>

第2次情報セキュリティ基本計画の検討の進め方について（案）

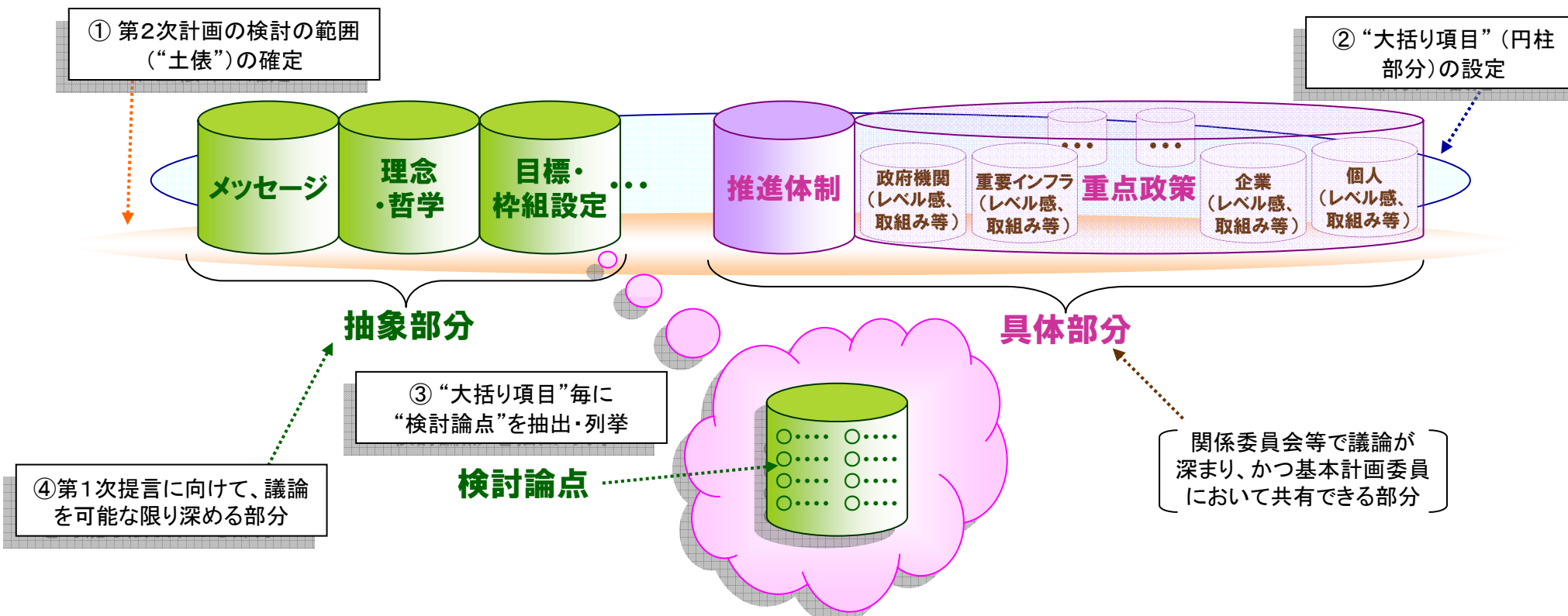
●第2次情報セキュリティ基本計画の検討においては、以下の順番で検討を進める。

【第1次提言まで】

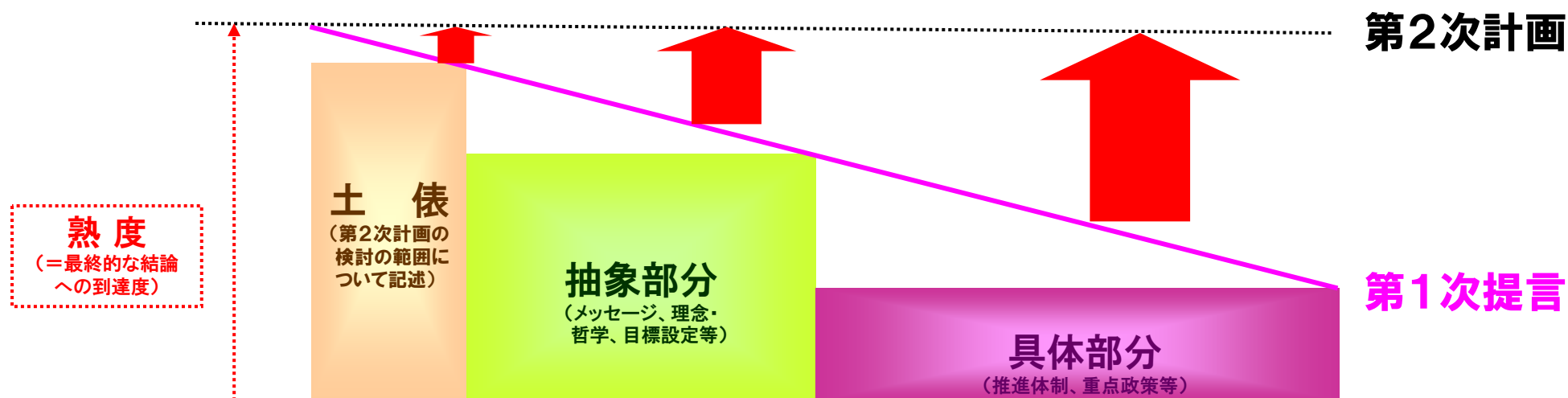
- ① 第2次計画の検討の範囲の確定(“土俵”の設定) → 3/19
- ② 大括りの検討項目(“大括り項目”)の設定 → 3/19
- ③ “大括り項目”毎に“検討論点”を抽出・列挙 → 4/4
- ④ 第1次提言に向けて、議論を進める(“抽象部分”を中心に) → 4/4、5月第1回会合
- ⑤ 第1次提言素案の提示～第1次提言の政策会議報告 → 5月第2回会合、6月政策会議

【その後】

- ・ “大括り項目”毎の議論を深め、最終とりまとめ → 12月政策会議まで



- 第1次提言においては、第2次計画の検討の範囲(“土俵”)の下、“抽象部分”と“具体部分”について盛込む。
- 第1次提言とりまとめ時の各パートの熟度は、土俵部分>抽象部分>具体部分となる見込み。

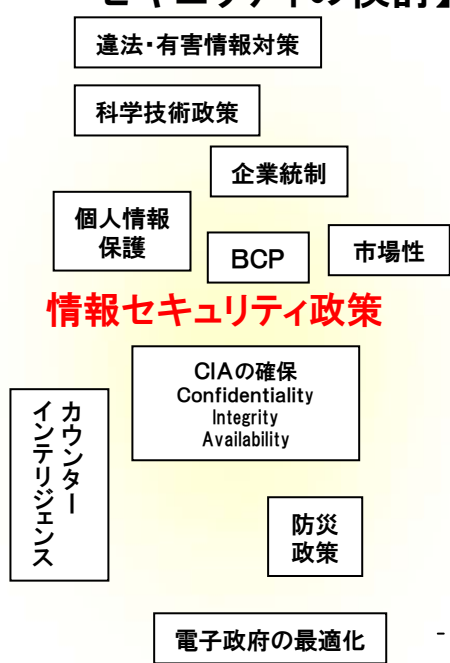


「第2次計画の検討の範囲(“土俵”)」の検討①

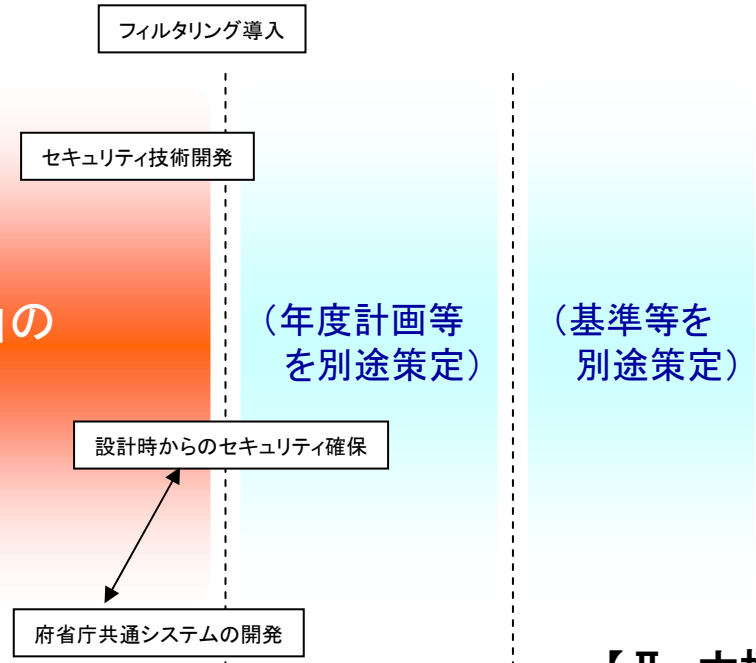
「確保すべきセキュリティの検討」と「大括り項目」について



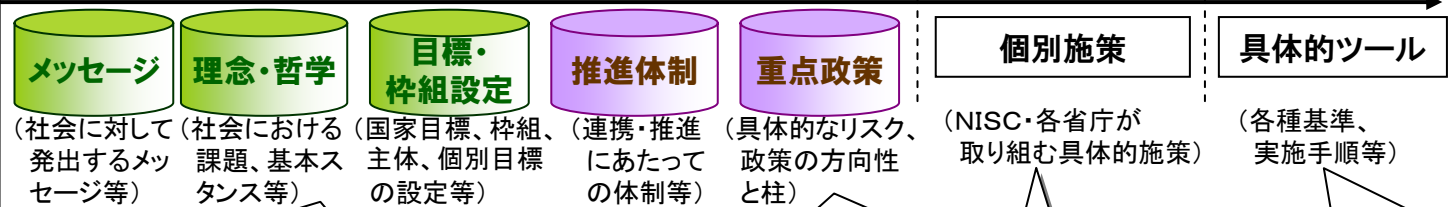
【I. 確保すべきセキュリティの検討】



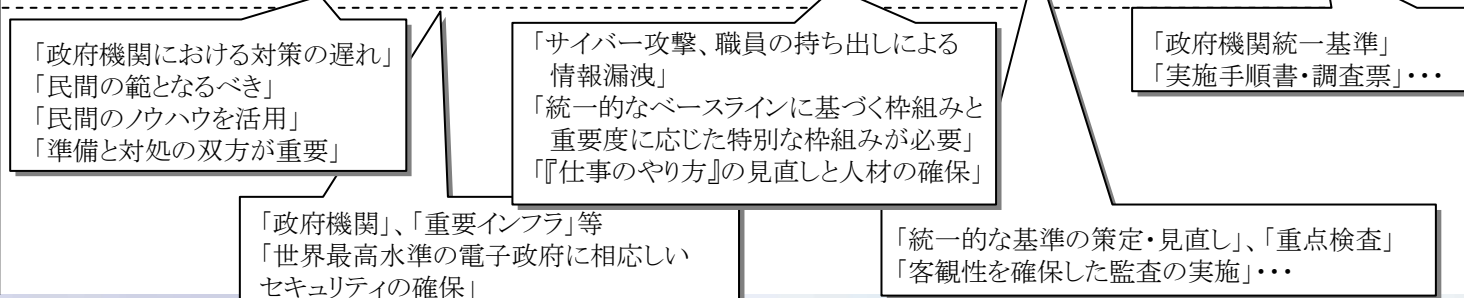
「情報セキュリティ基本計画」の検討の範囲



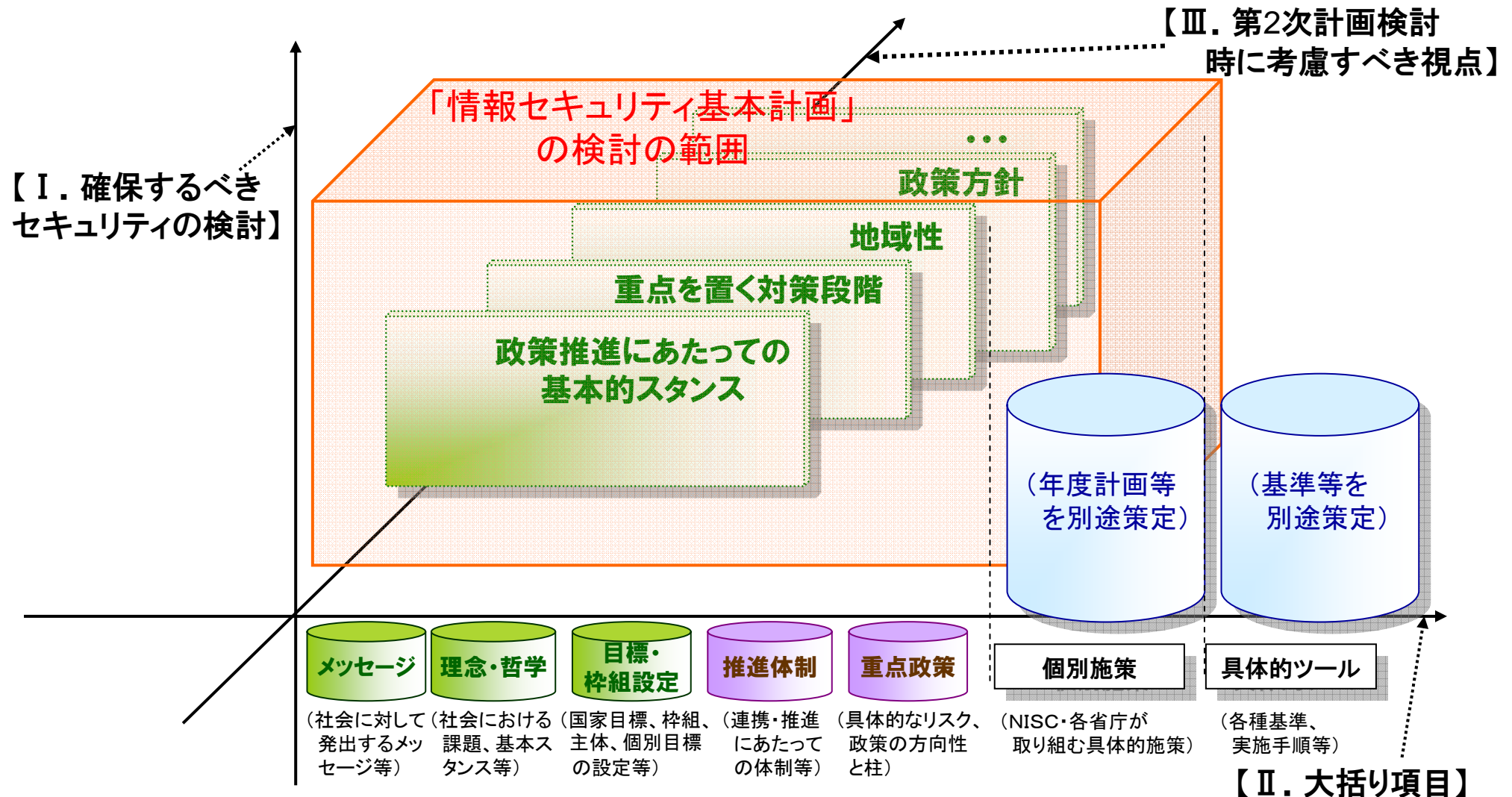
【II. 大括り項目】



【具体的な記述の粒度のイメージ】 ～政府機関対策の場合～



●第2次計画の検討時に考慮すべき視点として、検討委員から御意見を頂いたものを中心に選択し、優先的に御議論頂き、第2次計画の検討の範囲(“土俵”)を設定する。



I. 確保すべきセキュリティの検討

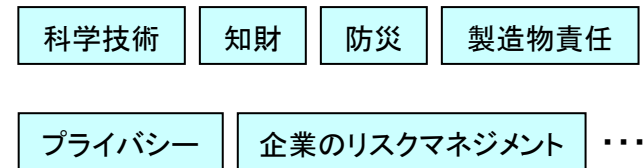
(1) 確保すべきセキュリティの検討

機密性・完全性・可用性、事業継続性、公共性・市場性、透明性等の様々な切り口から考えるか。

例えば、以下の取扱いは？

- システム面、マネジメント面
- 人的側面、技術的側面
- 求められるセキュリティレベルに応じた対策
- 違法有害情報に係る対策

(2) 他分野との関係

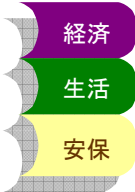


II. 大括り項目

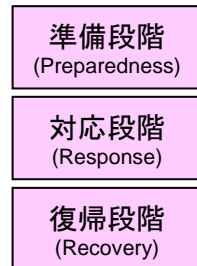


III. 第2次計画検討時に考慮すべき視点

(1) 政策推進にあたっての基本的スタンス



(2) 重点を置く対策段階



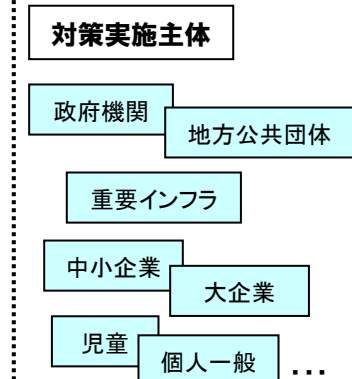
(3) 対策の実施における国内地域性



(4) 政策方針

- ① 情報セキュリティを確保すること
- ② セキュリティが付加価値となること
- ③ IT提供企業を育成・強化すること

(5) 対策実施主体、問題の理解・解決促進主体



(6) 具体的政策・対策

